

県民大会、日米政府を撃つ

辺野古新墳墓地建設絶対阻止の決意に燃え、3万5千人が県民大会に結集した。「屈しない」と書かれた青いボードを一斉に掲げる参加者（5月17日 沖縄セルラースタジアム那覇）



新基地阻止へ3万5千人

A black and white photograph capturing a massive protest march. In the foreground, a large crowd of people, mostly middle-aged and elderly women, march forward. A central figure holds a large white banner with bold Japanese text. The banner reads:

解雇撤回！非正規職撤廃！
全島ゼネストですべての基地を撤去しよう！
改憲・戦争、辺野古への新基地建設阻止！
沖縄労働組合交流センター

Below the banner, many participants are seen carrying smaller flags and signs. One man on the right side of the frame is shouting into a megaphone. The background shows a modern building with a grid-like facade and some tropical foliage.

県民大会終了後、戦争と新基地建設へのあふれる怒りを解き放つデモに決起した沖縄・本土の労働者・学生。「戦争反対！ 安保粉碎！ 安倍打倒！」「ストライキで戦争とめよう！」のコールが響きわたった（17日）

豊かな沖縄を実現するため、今こそ不退転の決意で立ち上がるう！

◇

昨年7月1日、集団的自衛権行使を閣議決定した安倍は4月27日に日米安保ガイドラインを改定し、29日には米議会で「夏までに」安保法制を成立させると宣言、5月14日に安保関連法案を閣議決定した。安倍は本気で戦争をやろうとしている。だからこそ「唯一の解決策」が辺野古なのだ。さらに与那国・宮古・八重山などの先島諸島への自衛隊配備をおし進めようとしている。

しかしこの安倍政権の「血を流して戦争をする国」への攻撃は、危機ゆえのものだ。アベノミクスの崩壊はもはや時間の問題だ。官製相場の株価と国債の大暴落、日本経済破滅へのカウントダウンはすでに始まっている。そこからまさき起くる労働者階級の「生きせよ！」という怒りの決起への恐怖が安倍政権を追いつめている。

アベノミクスの破産と崩壊は、すでに沖縄が始まっ

いる。だからこそ「唯一の解決策」が辺野古なのだ。さらに与那国・宮古・八重山などの先島諸島への自衛隊配備をおし進めようとしている。

しかしこの安倍政権の「血を流して戦争をする」国への攻撃は、危機ゆえのものだ。アベノミクスの崩壊はもはや時間の問題だ。官製相場の株価と国債の大暴落、日本経済破滅へのカウントダウンはすでに始まっている。そこからまさき起くる労働者階級の「生きせよ!」という怒りの決起への恐怖が安倍政権を追いつめている。

アベノミクスの破産と崩壊は、すでに沖縄が始まっ

菅官房長官、安倍首相、そして中谷防衛相が次々と「辺野古が唯一の解決策」「工事を蕭々（しゅくしゅく）と進める」とくり返した。沖縄米軍基地は、朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク戦争の出撃基地だった。辺野古新基地も、朝鮮・中国・中東・世界戦争への最新鋭の出撃基地になる。軍隊は住民を守らない。戦争は一握りの資本家の利益のために労働者同士を殺し合わせる。そんなことは絶対に許さない！ 安倍政権を打倒し、基地のない平和で豊かな沖縄を実現するため、今こそ不退転の決意で立ち上がるう！ ◇

「復帰」43年 5・15宣言

韓国・民主労総ゼネスト連帯！「基地の島」「非正規職の島」の根底的変革へ 沖縄全島ゼネストに立ち上がろう！

島」に縛りつけるばかりか、全国一の「非正規職の島」へと変貌（へんぼう）させた。青年の2人に一人が非正規職という現実がある「沖縄は、米軍基地があるから生きていける」というデマと一緒に強制されてきた。しかし、今沖縄で起きているのは「沖縄振興策」の打ち切りと世界大恐慌による事業撤退と職場の閉鎖である。

何の補償もなく解雇され、路頭に放り出された労働者との家族だけが残され、そこに安倍の戦争攻撃が襲いかかっている。基地は、やはり労働者を殺していくのだ！ この「戦争と非正規化」への怒りと歴史変革の先頭に立つ者こそ、青年労働者と学生なのだ。

韓国では4月14日、民主労総27万人がパククネ政権打倒を掲げて歴史的なゼネストに立ちあがった。ハンサンギュン委員長は「徹底的に闘えば、必ず政権を終わらせることができる」と宣言した。

これに続く沖縄全島ゼネストこそ、安倍政権を倒し、戦争と基地のない社会をつくる唯一の闘いだ。そ

農民・漁民・商店・知識人、学生・高校生が合流し、何らかの形で加わった県民は70万人という文字通りの「全島ゼネスト」だった。それは労働者の団結で沖縄全島をストップさせ、基地も戦争もない社会の建設へと突き進む闘いであった。

を現在に至るも「基地の島」に縛りつけるばかりか、全国一の「非正規職の島」へと変貌（へんぼう）させた。青年の2人に一人が非正規職という現実が、「沖縄は、米軍基地があるから生きていける」というデマと一緒に強制された。しかし、今沖縄で起きているのは「沖縄振興策」の打ち切りと世界大恐慌による事業撤退と職場の閉鎖である。

何の補償もなく解雇され、路頭に放り出された労働者とその家族だけが残され、そこに安倍の戦争攻撃が襲いかかっている。基地は、やはり労働者を殺していくのだ！ この「戦争と非正規化」への怒りと歴史変革の先頭に立つ者こそ、青年労働者と学生なのだ。

「こんな復帰は認めない」と立ち上がりた県民の先頭で、全軍労牧港支部青年部は「死すべきは基地だ。労働者は死んではならない」「解雇撤回・基地撤去」と訴え、血を流して闘つた。

基地のない沖縄を求めた「復帰」闘争は1971年、沖縄返還協定批准阻止を掲げた二度の全島ゼネストへのぼりつめた。11月10日の闘いは全軍労、官公

韓国では4月14日、民主労総27万人がパククネ政権打倒を掲げて歴史的なゼネストに立ちあがった。ハンサンギュン委員長は「徹底的に闘えば、必ず政権を終わらせることができる」と宣言した。

これに続く沖縄全島ゼネストこそ、安倍政権を倒し、戦争と基地のない社会をつくる唯一の闘いだ。そして同時に、国境を越えた労働者の根底的な怒りを呼び覚ます闘いだ。

新自由主義＝「民営化・外注化、非正規職化」と闘う労働組合を職場からよみがえらせ、「オール沖縄」をのりこえて沖縄全島ゼネストへ、ともに進もう。動労千葉・動労水戸・動労総連合とともに外注化阻止、非正規職撤廃に立ち上がるる。「反戦の砦（とりで）」三軍塹闘争と連帯して闘お

怒りのゼネストで安倍を倒そう

週刊

発行所 前進社
編集・発行人 城戸通隆
本社 東京都江戸川区松江
1-12-7 振替 00190-0-88857

速報版

2015年第5号
(2ページ)
100円+税

通常号 6 ページ
本体300円 + 税

購読料(送料別)
開封／密封

月 9072円(1020/2496)
年 18144円(2040/4992)

奈川支社 横浜市南区高
町1-10-38
替00220-8-75016
西支社 大阪市天王寺区
田町2-1-19
国支社 広島市南区宇品
1-2-36
替01360-5-30027
州支社 福岡市博多区半
島1-7-22

万国の労働者団結せよ！

現代革命 への挑戦

上巻定価2300円+税
下巻定価2400円+税

前進ブログから
<http://www.zenshin-s.org/>

国鉄1047名解雇撤回へ
国鉄闘争全国運動の本格的発展
動労総連合を全国につくろう！
戦争と改憲、民営化と総非正規職
安倍政権を倒そう！

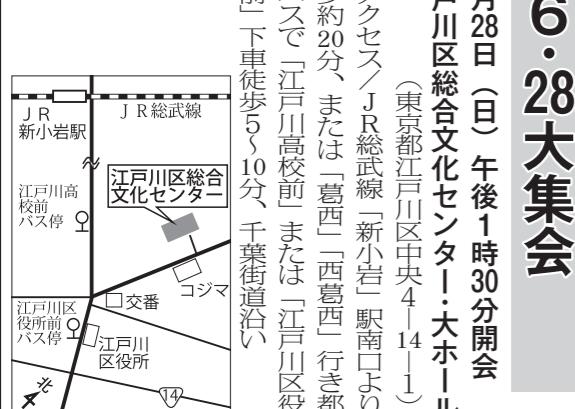
国鉄闘争6・7全国集会

国鉄1047名解雇撤回へ
国鉄闘争全国運動の本格的発展を
動労総連合を全国につくろう！
戦争と改憲、民営化と総非正規職化の
安倍政権を倒そう！

韓国・民主労総は第2次ゼネストへ



ソウル市庁前広場で開かれた4・24ゼネスト大会



6・28大集会

韓国・民主労総ゼネスト連帶!

江戸川区総合文化センター・大ホール

(東京都江戸川区中央4-14-1)

徒歩約20分、または「葛西」・「西葛西」行き都

営バスで「江戸川高校前」または「江戸川区役

所前」下車徒歩5~10分

千葉街道沿い

JR新小岩駅

江戸川高校前バス停

江戸川区役所前バス停

JR総武線

江戸川区総合文化センター

コジマ

江戸川区役所

江戸川区役所

JR新小岩駅

江戸川高校前バス停